

日本共産党の福島かずえです。一般質問を行います。

質問に先立ち、先の大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震によってお亡くなりになった方々へのお悔みと、被害にあわれた皆さまへのお見舞いを心から申し上げます。

テーマ 「人間の復興」という視点からの検証

はじめに、「人間の復興」という視点からの検証について伺います。

私は、被災者のみなさんが元の暮らしを取り戻すことが復興の基本であると考えます。そのためには住まいや生業、コミュニティの再建・再生が欠かせません。そして、被災者のみなさんがそのいのちや健康を保っていくことがその前提です。「人間の復興」と言われる視点です。防潮堤建設や高台移転などの防災対策、ハード整備だけが復興のものさしではありません。

1の① 心のケアセンターの継続の保障と体制の充実

みやぎ心のケアセンターへの相談件数は二〇一五年の7589件をピークに年間七千件を推移しており、電話相談や気仙沼地域センターの相談は年々増えています。コミュニティの再編成によって孤立傾向がある方への対応や引きこもり、アルコール問題、重複障がいがある方など複雑な事例に対応することが多くなっているそうです。沿岸市町と心のケアセンターが行った意見交換から集約された課題として、県外の支援団体の撤退が続く中で、住民の集う場、交流の場が失われており、住民ニーズが置き去りにされない配慮がいっそう必要なこと、関わる市町や社協の行政職員の健康状態も、震災以前よりも悪く、ストレスが軽減されなまま多忙な業務に追われている状況などが出されています。

子どもの心のケアも、相談件数は十六年230件、十七年281件と増え続け、不登校、引きこもりの顕在化、精神的、経済的に余裕のない親の影響を受けている子どもと、その親への支援の重要性が指摘されています。

子どもからおとなまで、心のケアは引き続き重要で、中長期的な支援体制が求められています。しかし、十五年をピークに予算が減り、それに伴い人員体制も72名から61名に減っています。しかも、単年度ごとの国の補助金と交付金に依拠しているため、先が見通せない不安定な雇用状態で常勤も非常勤職員も働いています。住民や行政職員の心のケアを行う、大事な専門家の皆さん自身がストレスを抱える環境の中に置かれている現状は急いで改善すべきです。

兵庫県では大震災直後からこころのケアに取り組み、二〇〇四年には恒久的なこころのケアセンターを開設し、二十三年たった今も相談・診療、調査研究、人材育成などに取り組んでいます。

知事は、復興・創生期間終了後も、「事業は継続していく」と語っていますが、単年度の業務委託から抜け出し、中長期にわたる対応策、将来計画を講じるべきです。

二〇二一年度以降も全額国庫による財源措置の継続を国に求めていくことは、もちろん大事ですが、復興基金活用も視野に入れて安定した雇用環境をつくり、専門家の

確保と体制の充実を早急に図るべきではないでしょうか。知事の決断を求めます。

1の② 自死相談と孤独死急増の対策

宮城県では、二〇一七年までに 残念なことに少なくとも五三人の被災者が自死・自殺されています。震災の年の二十二二人から年々減る傾向でしたが、また増える兆しがあります。

宮城県内の市町村及び保健所における自死に関する相談件数は、震災前には内陸部が沿岸部を上回っていましたが、震災以降は逆転し、一六年度は内陸部の約三倍の九八件の相談が寄せられています。ピーク時十二年度の一〇六八件に迫る勢いです。十三年度から十五年度までは六百件代だったのがまた急増しています。

震災孤独死も二〇一七年12月末の累計で、仮設住宅では一〇六人、災害公営住宅では七〇人と公表されていました。しかし、その後、今年一月から三月までの三カ月間だけで仮設住宅では二人、災害公営住宅ではなんと、十四人も亡くなられています。

災害公営住宅での孤独死は調査が始まった二〇一四年が三人、その後十一人、十五人、四十一人と年々増えてきています。災害公営住宅は仮設住宅よりも、コミュニティ形成が困難になり、被災者の孤立化が懸念されています。また、医療や介護費の負担に加えて、家賃が発生し、経済的にも苦しさが増しています。

この状況が続けば、阪神淡路大震災の孤独死を超える深刻な事態になります。この自死相談や孤独死が急増している事態に対応し、知事は危機感を持ち、先頭にたつて自死や孤独死を防ぐ施策を抜本的に強化していくべきです。いかがですか、伺います。

1の③ 大型災害公営住宅に常駐の生活支援員を配置せよ

この状況を改善するために、県が率先して、災害公営住宅、特に世帯の多い大規模住宅中心に、常駐の生活支援員を市町と協力しながら配置する制度をつくるべきです。すでに気仙沼市と南三陸町では、災害公営住宅内に相談室等を設置し、常駐の生活支援員や相談員を置いています。プレハブ仮設住宅と同様に、他の市町でもこうした取り組みがどこでもできるよう、国へ支援の拡充と県の財政支援を求めますが、いかがお考えでしょうか、伺います。

1の④ 県が活用できる復興基金はいくらなのか

宮城県の復興基金千六百六十五億円のうち、市町村に交付した千五十八億円を除いた六百七億円が昨年度決算時での県事業活用分として理解していいでしょうか。十五年度決算では六百一億円と昨年三月に答弁いただきましたが、その後、寄付金や積戻し金が六億円増えたということですか。確認のため伺います。

1の⑤ 住宅再建にはどのくらい復興基金を充当したのか

二〇一五年度決算で被災者の住宅再建に対する復興基金の割合はわずか1.31%だけでした。その後、民間賃貸住宅提供促進奨励金事業も復興基金を使うようになりました。これをあわせれば、昨年度決算では何%になったのでしょうか、伺います。

1.12%

1の⑥ 医療・介護費減免継続への復興基金を充当しなかったのは県の役割の放棄

岩手県では、復興基金の県事業分のうち、昨年度までに活用した総額の64.8%が県独自の住宅再建支援事業（全壊または半壊解体した世帯が県内で新しい住宅を建設・購入した場合、最大200万円補助する、国の生活再建支援金への上乗せ制度）など、住宅再建のために使ったお金です。

被災者の医療（国保と後期高齢者）・介護費の免除制度では、国からの全額支援が八割に減っても、岩手県はこの復興基金から9.7%（昨年度決算）をあてて、市町村と協力して継続してきました。一年ごとに継続するかどうか、毎年、関係市町村と相談し、県のイニシアチブで足並みをそろえ、対象者も半壊以上の被災者と当初から変えることなく継続し、来年度も行うそうです。住まいの確保と被災者のいのち、健康を守ることを最優先に復興基金を活用し、市町村を支援してきたと言えます。

一方、宮城県では、医療・介護費の免除継続に復興基金を充当しませんでした。その結果、免除制度を継続している自治体はわずか当初の十五市町から三市に減ってしまいました。

知事はよく「市町村の自主性を尊重する」という言葉を使いますが、私には住んでいる自治体で住民に格差が生じないように基礎自治体を励まし支援する広域行政としての県の役割を放棄しているようにしか思えません。知事のお考えを伺います。

1の⑦ 残っている復興基金は被災者や被災事業者を直接支援するものを最優先に

宮城県が県の事業に使える復興基金は昨年度決算で二百十八億円、今議会補正予算までいれると残高は百六十三億円で、まだ三割も残っています。

加えて、地域整備推進基金も現時点で残高が百十億円残っています。

これらのお金を今、求められている被災者支援に遠慮なく使うべきではないでしょうか。

また、今後、充当できる事業や優先すべき事業、被災者や被災事業者の生活、生業に直接的に役立たないものや通常の県事業には充当しないなど、復興基金の使い方の方的な考え方、ルールを整理すべきだと考えます。いかがでしょうか、知事に伺います。

1の⑧ 医療・介護費の免除継続・復活に復興基金を充当せよ

私は、増えている孤独死などを防ぐために、医療・介護費免除の継続、復活に、この復興基金を活用して、県内どこの市町村に住んでいても格差なく、いのちと健康を保障する県の役割を今こそ、発揮すべきだと考えます。いかがでしょうか、伺います。

テーマ2 優生手術被害者への支援と障がい者差別の根絶、人権尊重のための県の役割

次に、優生手術被害者への支援と障がい者差別の根絶、人権尊重のための県の役割について伺います。

宮城県において、旧優生保護法による強制不妊手術は記録に残っているだけで千四百六件あり、そのうち宮城県の記録で手術実施が確認され、個人が特定された方が九百人いるということが、この間の調査で明らかになっています。

この優生手術問題は長いこと、闇に葬られていました。

今年一月末、宮城県の被害女性が国に損害賠償を求めて裁判を起こし、社会的な関心呼び、ようやく事態が動き出しました。被害当事者や支援者の粘り強い行動が実りつつあると言えます。

日本共産党は、今年六月、国会内で記者会見を行い、「日本共産党もこの問題での不作為の責任があり、心から謝罪します」とお詫びし、問題解決のために「国の謝罪と補償を早急に行う必要がある」と表明いたしました。

私たち、県議会も代表者が審査会に参加し、関係予算に賛成してきた過去がありません。たとえ、当時の法にのっとっていたとはいえ、今の憲法のもとで、そうした重大な人権侵害に加担してきたことを深く反省し、被害にあわれた方たち、関係者のみなさんへ、心からお詫び申し上げます。

そのうえで、被害当事者への国からの謝罪、「不良」と認定したことに対する名誉の回復、それに伴う補償は急務であり、全力をあげて取り組む決意を申し上げます。

2の① 国へ謝罪と補償、法第3条対象者も被害者に認定すること求めよ

国も国会も動き出しています。全国で約一万六千五百件と言われる、本人の同意なしで行われた手術のうち、二千五百九十三件の北海道に次いで、宮城県は二番めに手術件数が多く、また他県ではほとんど行われなくなった八十三年まで、長期にわたり手術が行われていました。

その宮城県の知事として、国待ち、裁判待ちの姿勢を改め、国へ謝罪と補償を求める先頭にたって行動すべきです。

また、本人同意があったとされる法第三条の対象者も被害者に認定することもあわせて国に求めてください。いかがでしょうか、知事に伺います。

2の② 県独自調査や相談窓口開設とその周知徹底で被害者救済と支援を行うべき

同時に、県内の優生手術実施の中心的役割を果たしてきた旧中央優生保護相談所附属診療所、通称「愛宕診療所」はじめ、保健所や福祉事務所、児童相談所など県の関係機関がどう関わってきたのか、残っている公文書や関係者への訪問、聞き取りなどで、県独自にも事実の解明めざし、調査をおこなうべきです。また、北海道や鳥取県などでは、すでに相談窓口を開設していますが、宮城県でも早急に相談窓口の開設とその広報、周知徹底などに力をいれて、一人でも多くの被害者の救済、支援に力を尽くすべきです。お考えを伺います。

2の③ 「愛の十万人県民運動」の調査・検証と障がい者差別の根絶と再発防止

五十七年に設立された「宮城県精神薄弱児福祉協会」によって提唱、実施された「愛の十万人県民運動」についての調査・検証も欠かせない宮城県の仕事です。

この協会設立時の趣意書には「優生保護の思想をひろめ、県民の素質を高める」ことが掲げられていました。趣意書は現在からみれば、医学的にも統計的にも裏付けのない偏見に満ちた記述が多くあります。

東北電力社長が会長になり、「県内のPTA、婦人会、教職員組合、社会福祉協議会、公民館、医師会等の諸団体が一致協力して結成」され、参与には、県中央児童相談所所長、県教育委員会学校教育課長、県民生労働部母子課長も連なり、官民あげての総ぐるみ運動といえます。

約七年かけて県内十九支部の会員六万四千五百名から、一口百円の入会金と三百円の年会費で約八百万円、篤志寄付金約二百六十四万円、あわせて目標の一千万円を超えるお金を集め、それを自己資金に知的障がい児入所施設「小松島学園」を建設しました。

全国の手術件数は一九五五年の一千二百六十件をピークに年々減少しているのに、宮城県は「愛の十万人県民運動」とともに手術件数が増え、小松島学園開園五年後の六十五年が百二十九件で最多となっています。この年は、全国五百十三件の手術のうち、その四分の一が宮城県で行われていました。

県独自に第三者委員会をつくり、宮城県のこうした経過を検証し、「優生思想」に基づく人権侵害や障がい者差別を根絶し再発防止策を講ずるべきですが知事のお考えを伺います。

2の④ 人権尊重の社会をつくるため県の役割として幹部自ら人権の研修を行い、啓発すべき

二年前の神奈川県津久井やまゆり園殺傷事件の容疑者が語っていたことはまさに「優生思想」と言えるものです。また、杉田水脈衆院議員の「生産性」を持ち出して人間の価値を決めるかのような発言は、「優生思想」にも通じるとして幅広い国民から厳しい批判を受けています。

財務省トップ官僚のセクハラ発言や国会議員の「必ず三人以上の子どもを産み育てていただきたい」や「子どもを産まない方がしあわせと勝手に考えている人がいる」という発言も、女性の人権や「自分の人生において大事なことは国から干渉されることなく、自分で決められる権利(自己決定権)であり、生むか、生まないかも自ら決定する権利」、「リプロダクティブヘルス&ライツ」性に関する健康と権利」に反することだという認識の欠如から来ています。

障がいのある人もない人も、生む人も生まない人も、それぞれの人権が尊重される社会をつくっていくために、県が果たすべき役割として、これらの人権について知事はじめ幹部職員から率先して研修を行い、社会に啓発していくことを求めますが、いかがでしょうか。知事に伺います。

2の⑤ 障がい者雇用水増しへの猛省と徹底検証、再発防止を国に求めよ

関連して、障がい者雇用の水増し問題について伺います。

障がい者の法定雇用率は従業員が45.5人以上(短時間雇用者は0.5人と計算)の企業が2.2%なのに対し、雇用促進をうたう国や自治体は2.5%と高く設定されています。国は障害者雇用推進を掲げながら、今回、27の省庁で雇用率を偽装し、

長い間、障がい者の就労機会を奪い、社会参加の選択肢を制限する重大な人権侵害を
してきました。雇用率は公表されていた2.49%ではなく、その半分以下の1.1
9%でした。

国へ猛省を促し、徹底検証と再発防止を求めるべきですが、知事の答弁を求めます。

2の⑥ 県も再発防止と障がい者雇用を拡大すべき

宮城県でも、調査の結果、県5人、県教委10人、合わせて15人の障害者手帳が
確認できないなどとして、県は2.74%、県教委は2.06%と雇用率を訂正しま
した。宮城県内の企業の障がい者雇用率は全国に比べて悪く、知事先頭に、企業訪問
など力を入れてきましたが、今後、企業の協力を得られにくくなるのではないかと心
配です。

再発防止とともに、失われた信頼を回復し、社会全体が障がい者雇用について理解
を深められるよう、県や県教委が率先して、障がいのある人の雇用を拡大すべきです
がいかがでしょうか、お答えください。

テーマ3 貞山運河の利活用と周辺集落への支援

3の① 運河サミット開催と獲得したい目標

最後に、貞山運河の利活用と周辺集落への支援について伺います。

今月二十六、二十七日に「全国運河サミットニッみやぎ」が開催されます。

宮城県は、二〇一三年五月に「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定しました。今
回のサミットはビジョンで掲げられた短期・中期目標である「被災した運河群および
沿岸地域の一日も早い復旧、復興の共有化と参加」「運河群および沿岸地域における
“集いの場”の再生と広域的な連携の拡大」が進んでいるのかを検証する場にもなり
ます。

運河サミット開催趣旨と県が獲得したい目標を知事に伺います。

3の② 貞山運河群が貴重な地域資源という認識を全庁的に持ち県のイニシアチブを発揮せよ

運河群の一つ、貞山運河の新堀がある若林区で生まれ育った私は、井土浜の貞山堀
で泳ぎを覚え、シジミを捕り、松林ではキンタケ、アマタケなどのキノコ狩りをし、
貞山堀の魅力を満喫して育ちました。それでも、この運河群が日本一長く、安土桃山
時代の終わりから明治中頃まで三〇〇年かけてつくられた歴史的価値があるものだ
と知ったのは、だいぶ大人になってからです。

七市三町にまたがり、総延長が四九キロメートルもある貞山運河の持つ多様な表情、
魅力の一つの貴重な地域資源として県内外に発信し、利活用していくには、河川とし
て大部分を管理している県のイニシアチブの発揮が決定的に重要です。そういう認識
を県は全庁的に共有しているのでしょうか。伺います。

3の③ 多様な主体を沿川につくる支援策の強化、拡充

沿川の周辺集落では津波の被害が大きく、人口が減り、集落の維持が課題となっ
ているところも少なくありません。災害危険区域に指定されたところもあります。

仙台市宮城野区の新浜町内会は研究会やNPO、大学、若林区荒浜、井土浜などの近隣住民にも呼びかけて、運河の魅力的活用フォーラムやエコトーンなどの自然観察フットパス開催、渡し舟や運河群の歴史や魅力を描いたイラストガイドマップを作製するなど、従前地での集落の再生、復興に貞山運河を位置づけて活動し話題を呼んでいます。

このように周辺集落が運河を地域資源として利活用しながら、交流人口や移住・定住人口の拡大に取り組む場合、沿川市町だけに支援を委ねるのではなく、県も積極的にアドバイスし関わりをもつなど、支援策の強化、拡充を求めます。

河川課が窓口となり、農林水産業や自然保護、文化財、観光など関係部局、国、市町とも連携・調整を図り、県として全庁的に応援していくことが、多様で自発的な主体を沿川に育て、「集いの場の再生と広域的な連携」を持続させていく土台になると考えますが、知事のお考えを伺います。

3の④ 仙台市での位置づけもさらに大きくなるように県は働きかけよ

また、名取川から仙台港までを沿川にもつ仙台市の積極的な取り組みも欠かせません。

仙台港建設を契機に、御舟入堀の一部は埋め立てられました。今回の震災復旧では、仙台市が北蒲生の区画整理事業計画を変更すれば、「蒲生御蔵」を中心とした運河が復元される絶好のチャンスでした。が、それが叶わず、たいへん残念です。

貞山運河の土木資料としての歴史的価値、地域資源としての魅力が仙台市のなかで、いっそう大きく位置づけられるような県のさらなる働きかけを求めますが、いかがでしょうか。知事のお考えを伺います。

3の⑤ 沿川の農村集落でのほ場整備、田畑の土づくりには県は責任を持って

運河群沿いの農地、農村集落では、大区画ほ場整備事業が進んでいます。客土としてのいい土が不足しており、質の悪い、大きな石がゴロゴロ入ったままの客土が持ち込まれていて困っているという苦情や相談が寄せられています。田畑の土づくりは作物の良しあしを決める決定的に大事なものです。県事業だけでなく、国直轄事業も含めて、一作の出来も確認しながら、事業終了後も県が責任を持って対応することを求めますがいかがでしょうか。伺って、第一問といたします。

タイトル除いて 7294字